

## 事業計画書

事業名	Pallet Square (パレットスクエア)
実施場所	沼津市内浦三津 247
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2023年 6月 12日 ~ 2024年 3月 31日

## ◎事業概要

※事業の概要を100~200字で簡潔に記載して下さい(事業の紹介などで使用します)。

沼津市内浦三津にオープンするゲストハウス Pallet の施設前のスペースをワークショップ形式で緑化して、地域の子どもからお年寄りが集まれる広場を作ります。  
現在砂利敷きの土地の土中環境を整え、人にも自然にも心地よい場所作りをします。  
緑化後、毎月マルシェを開催。キッチンカーの他に2~3店舗出店者を集め、地域・近隣の方、観光客など交流の場を作ります。

## ◎目的

※何を目的として実施する事業であるか(事業を行うきっかけ(地域の問題点や課題、社会背景など)や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか)を記載して下さい。

Pallet Square の計画地は沼津市内浦地区にあります。  
山と海に囲まれた地域で、夏は海水浴などの観光業とみかん栽培、漁業が主な産業です。  
みかん栽培など第一産業は、少子高齢化と担い手不足のため生産量の低下、学校の統廃合、働き口を求めて若い世代は都市部に出ている状態です。  
子供たちが減りお年寄りが多くなり、コロナ禍の影響で地域での行事なども無く、人と会う場所、話す場所がなくなりました。

Pallet Square は居心地が良く、人が集まる場所を作ることを目的にしています。  
まずは、地域の人たちや場づくりに興味がある人たちと一緒にワークショップ形式で施工を行います。計3回のワークショップで敷地の土中環境の整備から、植栽までを行います。

今回のワークショップでは「土中環境」をテーマに、現在の砂利敷きの駐車場に水脈を作り、土地が本来有する呼吸環境を整えます。

## &lt;ワークショップ1&gt;

敷地内の外周をおよそ深さ30cm~50cmの溝を切り、周辺放棄地や山から切り出した竹や落ち葉、枝などの有機物の他に、敷地内でた石やブロックなどを砕き溝に埋め戻します。

箇所箇所に縦穴およそ80cm~1mほど掘り、節を抜いた竹を差し込み空気穴を作ります。ここにも有機物を埋め込み環境を整えます。

## &lt;ワークショップ2&gt;

芝生部分の下地部分は砂利を撤去し、竹炭、ウッドチップ、瓦チップ、表土をミルフィール状に3回に分けて重ねて行きます。

## &lt;ワークショップ3&gt;

最後に芝張り、種まき、植栽、植樹などを行います。

通気浸透を焦点に当て、雨水の浸透と共に空気も土中に引き込み、表層の広場部分だけではなく、大地の中をイメージしながら作業を行います。

土中環境の広場作りは、私たちの体にも良い影響を与えるものと思います。

うまく呼吸ができないと体には負担がかかり、心身ともに病んでしまいます。

そのサインは体の中にあります。自然環境も同じように大地の中からサインが出ています。

今回の施工で行う範囲はとても小さい区画ですが、健全な大地が健全な心身を育みます。

今回の広場作りがケーススタディの場になり、その輪が広がることも目的としています。ワークショップに参加する方はもちろん、施工後もマルシェなどのイベントで多くの人に足を運んでもらい、この広場の良さを感じてもらいたいです。

7月までに施工を完了し、1ヶ月の養生を期間設けます。

8月からマルシェを開催し、地域の方々、近隣地区や観光客など多くの方に来てもらえる場所づくりを継続して行きます。

## ◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
3 月	<small>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</small> ・デザイン、シンボルツリーの選定 ・巨石や木の根、砂利の撤去をして整地
4 月中旬	・ゲストハウスの外周工事終了
6 月末	・1回目 Pallet Square 施工 ワークショップ 敷地外構の水脈整備 (土中の水脈と空気の流れを作る)
7 月	・2回目 Pallet Square 施工 ワークショップ 地ごしらえ、整地 (竹炭、ウッドチップ、瓦チップを敷地全体に敷き、数回に分けて大地の層を作る)
7 月	・3回目・4回目 Pallet Square 施工 ワークショップ 植栽、芝張り (花壇なども作り、施工終了)
7 月～8 月	・養生期間
8 月	・第1回 Pallet マルシェ開催
9 月	・第2回 Pallet マルシェ開催
10 月	・第3回 Pallet マルシェ開催
11 月	・第4回 Pallet マルシェ開催
12 月	・第5回 Pallet マルシェ開催
1 月	・第6回 Pallet マルシェ開催
2 月	・第7回 Pallet マルシェ開催
3 月	来年度以降も継続実施予定

## ◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

自分がこの地区に越してきて2年経ちましたが、その間コロナ禍の影響もあり地域での集まり、行事は一切ありませんでした。コロナの状況が落ち着きつつある現状、コロナ前のようなコミュニケーションが必要だと感じています。

そのための最初のステップとして小さな広場「Pallet Square」を作ります。みんなで広場作りをすることで、信頼や信用が生まれ、地域での人の繋がりを再構築することができると思います。どんなに小さくても少人数でも賑やかさを創出して、世代を超えて交流する場を作ります。

施工後はマルシェを開催して地域内外問わず、多くの方が出会える場所を継続的に作って行きます。

成果指標	<p>※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。</p> <p>コミュニケーションへの意識向上とコミュニティ活動の活性化</p>	指標の検証方法	<p>※左記指標の検証方法を記載して下さい。</p> <p>アンケート実施 アーカイブ作成（レポート）</p>
------	---	---------	---

## ◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

<p>公益性 ・ 必要性</p>	<p>※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。</p> <p>※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。</p> <p>地域の少子高齢化、コロナ禍での人の繋がりが希薄になってしまった中、コミュニケーションを作る場所は必要だと考えています。地域の人や土中環境改善に興味がある人などに協力してもらいながら、みんなで Pallet Square を作り関係性を深めて行きます。</p> <p>コンクリートやアスファルトを使用した側溝や道路が、土中の環境に影響を及ぼしています。雨水の浸透性が下がり土壌が流亡して崖崩れや土砂災害の危険が上がります。施工場所が土砂災害警戒地域ということもあり、少しでも水捌けが良く、環境を整えることが求められています。</p> <p>地域的に車がないと買い物がしづらい立地です。Pallet Square 施工後は、移動販売の誘致やイベントやマルシェ開催などで徒歩圏内でちょっとしたお買い物できる場所、人が集まり会話をできる場所を創出して笑顔を増やします。</p>
<p>地域性</p>	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>コンクリートやアスファルトを使用した側溝や道路が、土中の環境に影響を及ぼしています。雨水の浸透性が下がり土壌が流亡して崖崩れや土砂災害の危険が上がります。施工場所が土砂災害警戒地域ということもあり、少しでも水捌けが良く、環境を整えることが求められています。</p> <p>小学校の統廃合、高齢者の単身世帯、空き家の増加など、地域に賑わいや活気がなくなりました。マルシェやイベントの開催などを通して地域の人が顔を合わせる場所、観光で訪れた人も立ち寄れる場所 Pallet Square を作り地域の魅力を発信します。</p> <p>自分の住む沼津南エリアは、市街地とは違うライフスタイルを志向する人が多く暮らしています。廃バスを利用したカフェ、古民家をリノベーションしたゲストハウス、釣りに特化した宿泊施設、自然栽培のみかん農家、遊休地を利用したキャンプ場など、県外から多くの移住者が集まりこの地域で活動しています。</p> <p>移住者の方は地域との接点が少なく、顔を合わせる場所を大切にしています。彼らにも広場作りに参加してもらい、交流を深められる場にしたいと思います。</p>

<p>先導性</p>	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>砂利敷きの殺風景の広場を緑化してベンチなどを設置することで気軽に人が訪れる場所にしたいです。土中環境を意識した土壌改善は全国的に注目を集めており、沼津、伊豆でも施工事例があります。施工後の植物の変化、土壌変化、施工に関わる人たちの意識の変化など、多くの学びの場になると思います。</p> <p>高齢でもまだまだ気持ちが若く、元気な方が多く地域には住んでいます。少ない人数でも子どもたちもいます。そんな地域の方達が気軽に顔を合わせて話ができる場所作りとして土中環境での広場作りは、コミュニケーションや会話が生まれるきっかけになると思います。</p>
<p>発展性 ・ 継続性</p>	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>&lt;発展性&gt; Pallet Square 施工後は、月一回のマルシェ開催をベースとして、年に一回は規模を大きくしたイベントができたらと考えています。具体的には昨年11月に同地域で開催した西浦ローカルマーケット（前回集客約500人）に繋げていきたいです。</p> <p>&lt;継続性&gt; 施工後は自分が主体となり、出店者を集めて月一回のマルシェやイベント開催をします。 自分が住む地域であり、知人や出店者なども多くいるので開催費用もかからず、継続しやすい状況です。マルシェの内容が重複しないよう、多くの人に参加してもらえるよう工夫をしていきます。</p>
<p>実現性 ・ 妥当性</p>	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>自前の土地ということ、自宅の庭も同じ施工をしたため経験があります。地域でも若い世代であり、子供もいるので近隣の多くの人と繋がりもあります。ワークショップは施工業者の方が何回も実施しており、スケジュール、内容に問題ありません。</p>
<p>活動に対する熱意</p>	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>とても小さく、狭い地域での活動になります。それでも人が顔を合わせて話をしたり、環境について考えたりする場所作りをすることで、その輪を広げて行きたいと思います。 人と人を繋ぐことが自分の役割であり、得意なことでもあります。 この新しい場所からまた大きく、広い関係性を築いて行きたいです。</p>

### ◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p>
--

**◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）**

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

**◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）**

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。